

課題解決型太陽光発電施設導入事業補助金の採択状況について

1 要旨・目的

令和6年度から新たに実施する「課題解決型太陽光発電導入事業補助金」について、補助事業者を採択したので報告する。

2 現状・背景

- 令和5年3月に改定した「第3次広島県地球温暖化防止地域計画」に基づき、再生可能エネルギーの導入促進に向け、工場や家庭における自家消費型太陽光発電の導入の促進を図っている。
- 自家消費型太陽光発電の導入においては、休日の電力需要低下により余剰電力が発生し、設備の能力を生かしきれない等の課題があることから課題解決に資する事業を公募し、課題解決モデルを創出し周知・広報することにより、自家消費型太陽光発電の導入促進を図るもの。

3 概要

- (1) 対象者
事業者

(2) 事業概要

ア 事業目的

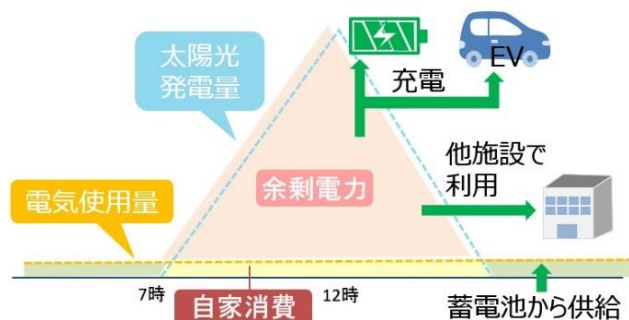
自家消費型太陽光発電の導入における課題を解決するモデルの創出を支援する。

イ 事業内容・スキーム

モデル事業を実施する事業者を公募し、設備等導入に必要な経費を補助する。

(補助率：1/2、補助上限額：8,000千円)

ウ 解決モデルのイメージ



休日等に発生する余剰電力を「EVや蓄電池に貯めて活用」や「自社の他施設に送電」等により、有効活用する

(3) 公募結果

公募期間：令和6年5月22日 ～ 7月5日

応募者数：12社

(4) 採択内容

有識者等を委員とする審査会により申請内容を審査した上で次の3件を採択した。

事業者名等	提案内容等	補助額
常石商事(株) (福山市)	○ 目的 余剰電力をEVへの充電や離れた場所にある他施設への送電により活用する。 ○ 内容 事業所の屋根及びカーポートに太陽光パネルを設置し、発電した電力を使用するとともに、EVに蓄電し効率的に活用する。また、休日に発生する余剰電力はPPA等でグループ会社の遊園地へ供給し活用する。	7,829 千円
(株)真末鉄工所 (広島市安佐北区)	○ 目的 休日の余剰電力をEVへの充電により活用する。 ○ 内容 工場屋根に太陽光パネルを設置し、発電した電力を使用し、休日に発生する余剰電力はEVに蓄電し効率的に活用するとともに、災害による停電時には予備電源として活用する。また、利用状況などをモニタリングしCO ₂ 削減の管理体制を構築する。	8,000 千円
中国電力(株) エネルギー総合研究所 (東広島市)	○ 目的 複数拠点間における太陽光発電電力を、エネルギーマネジメントシステムの改良により効率的に活用する。 ○ 内容 太陽光発電設備を整備した2拠点の模擬フィールドにおいて、発電・需要の計画・管理、蓄電装置等の充放電計画の最適化、計画に合わせた制御といった独自機能を備えたエネルギーマネジメントシステムの改良を行い、2拠点以上の拠点全体で太陽光発電電力を効率的に利用する。	8,000 千円

(5) 予算(単県)

24,000 千円

(6) 今後の対応

本補助事業で創出されたモデルを周知・広報することにより水平展開を図り、自家消費型太陽光発電の導入を促進する。